

令和 2 年 1 月 14 日
環境生活部県民くらしの安全課

新しいわて水道ビジョンの策定について

本県における水道事業のあり方を示した「いわて水道ビジョン」（平成22年3月策定）について、水道事業を取り巻く環境の変化や水道法の改正等を踏まえ見直した「新しいわて水道ビジョン」を令和元年10月に策定しました。

今後、各市町村と連携し、本ビジョンの実現に向けた取組を進めていきます。

1 趣旨

本県では、平成 22 年 3 月に「いわて水道ビジョン」を策定し、水道事業者と連携して水道普及率の向上や耐震化の推進等に取り組んできました。

この間、人口減少による水需要の減少や水道施設の老朽化など水道事業を取り巻く状況が大きく変化して来ている中で、国においては、平成 25 年 3 月に「新水道ビジョン」を策定し、水道の基盤強化や広域連携の推進などが盛り込まれ、平成 30 年 12 月には水道法の改正が行われました。

こうしたことを踏まえ、「いわて水道ビジョン」を見直し、「新しいわて水道ビジョン」を策定しました。

2 策定のポイント

国が示しているガイドライン（「都道府県水道ビジョン」作成の手引き）に基づき、現状と将来の見通しを踏まえ、次の 3 つの視点から課題を整理し、本県水道の目指すべき方向性と実現方策を盛り込みました。

- ① 水道サービスの持続性は確保されているか【持続】
- ② 安全な水の供給は保証されているか【安全】
- ③ 危機管理への対応は徹底されているか【強靱】

3 計画期間

この新しいわて水道ビジョンは、40 年～50 年先を視野に入れつつ、10 年後を目標年度としました。

○計 画 期 間：令和元年度～令和 10 年度

○計画目標年度：令和 10 年度

4 令和 2 年度の取組

新しいわて水道ビジョンの実現に向けて、各市町村と連携し、広域連携の検討などの具体的な取組を進めます。

（1） 水道広域化推進プラン策定に向けた取組

水道事業者における経営状況などの現状分析や将来見通しなどの取組が進むよう支援するとともに、市町村等の幹部職員を対象としたセミナーを開催します。

（2） 水質管理の強化に向けた取組

水安全計画が未策定の水道事業者を対象に、研修会及びフォローアップを実施します。

（3） 水道施設の耐震化に向けた取組

災害時等においても給水が確保できるよう、水道事業者が行う水道施設の耐震化対策等の取組を促進します。